

刊行の辭

若槻俊秀教授は、平成十九年三月末日をもって、めでたく定年を迎えられることとなった。長年のご精勤の勞に感謝し、謹んでこの書一本を奉呈申し上げる。

本學中國文學會と國文學會とが協力して、大谷大學文藝學會を發足させたのは、昭和四十八（一九七三）年四月であつた。そして同年九月機關誌『文藝論叢』が創刊された。爾來今日まで年二回の刊行を續けてきた。滿三十二年を迎えた昨春秋には、橋本循記念會より第十五回蘆北賞（學術誌部門）を贈られた。本第六十八號は、創刊以來中國文學會はもとより大谷大學文藝學會を支え率いてこられた、七代目會長の若槻俊秀教授退休記念號とすることにした。ここに「ご寄稿いただいた方々は、學内者、受業生の他、國內いづれも世に名の著れた研究大家ばかりである。このたびの若槻俊秀教授退休にあたって格段のおはからいを頂戴できたのは、それぞれ永年の深いご縁によると共に、若槻教授の人徳のしからしむるところである。

本書が成るについては、大谷大學から特段の助成を頂いた。ここに誌して謝意を表す。

平成十九年三月

大谷大學文藝學會

佐藤義寛